

超電導リニアによる 中央新幹線の早期全線整備について

交通政策審議会中央新幹線小委員会(第5回)
沿線自治体ヒアリング資料

平成22年7月2日
大阪府

大阪府の意見(ポイント)

『国家プロジェクト』として 大阪までの早期全線整備を目指すこと

- リニア中央新幹線は、日本の成長を大きく促進し、成長著しいアジアとの都市間競争に勝ち抜くために真に必要なインフラ。
- 日本の成長への取組は待ったなしの状況であり、『国家プロジェクト』として、国のリーダーシップにより、大阪までの早期全線整備を目指すことが不可欠。

※「成長の足がかりとなる、投資効果の高い大都市圏の空港、港湾、道路等の真に必要なインフラの重点投資(中略)を戦略的に進め、世界、アジアのヒト・モノの交流の拠点を目指す必要がある。」[新成長戦略より]

◇リニア中央新幹線の早期全線整備は・・・

1 成長著しいアジアとの都市間競争に勝ち抜き、 日本が成長を続けるために必要不可欠

(1) 都市の国際競争力強化

三大都市圏がリニア中央新幹線で結ばれることでスーパー・メガリージョンが形成され、経済活動の相互補完性等を通じて日本の都市の国際競争力が強化される。

(2) アジアの活力を取り込む観光戦略の実現

首都圏と関西圏がリニア中央新幹線で結ばれることで関空を経由した「中継都市」機能が強化され、短縮時間を活用した観光メニューの多様化が図られる等、訪日外国人が上積みされる。

2 大規模自然災害(大地震等)に対する、 国土軸のリダンダンシーの確保

1-(1) 都市の国際競争力強化

○首都圏・関西圏が各々メガリージョンを形成

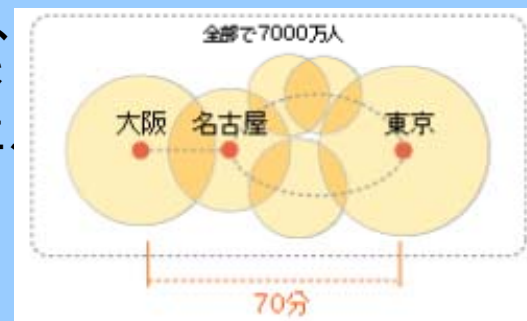
- * 首都圏と関西圏は、各々フルセットのメガリージョンとして、その個性を発揮しつつ、2つの成長エンジンで日本の経済成長を牽引



← リニア中央新幹線(東京～大阪)

○三大都市圏が一つとなった スーパー・メガリージョンの形成

- * スーパー・メガリージョンが形成されることにより、
 - ①各都市圏の経済活動の相互補完性が強化される(比較優位分野への特化が可能)とともに、
 - ②クリエイティブ産業の比率が高まり、都市の国際競争力が強化される。



○日本の力強い経済発展と 魅力的な文化の誕生を促進

1－(2) 観光戦略の実現

○観光戦略：訪日外国人を増やす(2,500万人/年)

* 将来的には3,000万人/年目標[新成長戦略より] (2008年現在850万人)

○成田・羽田＋関空による観光客の受入れ
東京～大阪を短時間で結ぶことで効果が拡大

* 中国人(北京・上海等)観光客は、東京～大阪をめぐるゴールデンルートツアーが6～7割[日本政策投資銀行]

○時間短縮効果により、
西日本・東北等への活動圏が拡大

* 新幹線ネットワークの活用により、新大阪－広島まで1:30・博多2:30、東京－新潟2:00・仙台2:00等

* 多様な観光ニーズへも対応可能(ビジネス＋観光、医療＋観光 等)

○訪日外国人観光客の上積み

◇ リニア中央新幹線の開業の効果は・・・

○国内だけで、約7,000万人の
スーパー・メガリージョンが形成

○便益は15兆円～21兆円(大阪開業後50年間の累積)

[リニア中央新幹線建設促進期成同盟会資料]

参考) 諸外国との比較

	GDP	人口	
三大都市圏	約296兆円	約6,500万人	
ドイツ	約341兆円	約8,200万人	
イタリア	約217兆円	約6,000万人	GDP「内閣府・平成19年度県 民経済計算」「世界銀行 WDI Online 2009.2」等 人口「世界人口白書2009」より
フランス	約265兆円	約6,300万人	
カナダ	約150兆円	約3,400万人	
韓国	約104兆円	約4,900万人	

○観光戦略の実現による経済波及効果は、
約10兆円*をこえる規模

[*新成長戦略より]

2 国土軸のリダンダンシーの確保

○現状：東京・大阪間の大動脈輸送は「東海道新幹線」のみに依存

* 東海道新幹線利用者は年間1億5,000万人
[2009年:JR東海・HP]

○大地震等による断絶は、日本の社会経済全体に大打撃

* (例)東海地震 : 30年以内発生確率87%
東南海・南海地震: 30年以内発生確率60~70%

○リニア中央新幹線の早期全線整備による、国土軸のリダンダンシーの確保が不可欠

◇ まとめ(早期全線整備実現のために)

リニア中央新幹線の意義

国家的価値

- ・スーパー・メガ
リージョンの形成
- ・国土軸のリダン
ダンシーの確保

JR東海の経営

- ・輸送力増強
- ・世界最速の技術
の伝承

日本の
競争力
強化

早期全線整備を実現して日本の競争力強化につなげるために、JR東海の健全経営・自主性を尊重しつつ、国でリーダーシップを持って推し進めていただきたい。

分散投資による整備新幹線(既着工路線)長期化の轍は踏むべきでない。